

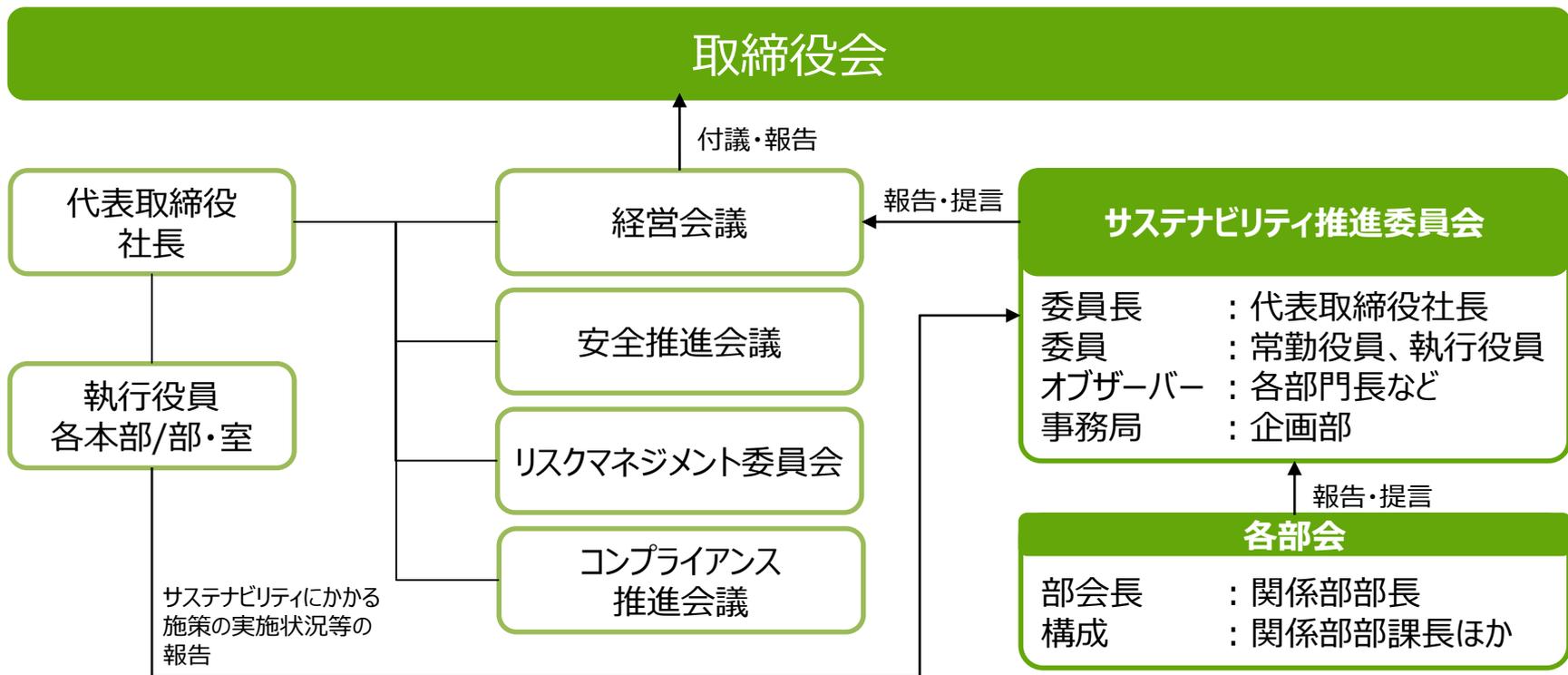
# ソラシドエアによる環境・脱炭素への取り組み

株式会社ソラシドエア





- 当社は、「安全を経営の基盤とし、サステナブルな企業経営と地域社会への貢献を目指す」を経営理念に掲げ、地域との関係性の一層の強化と持続的な事業運営のための環境課題への対応などに取り組み、社会価値と経済価値の両立により、企業価値向上を目指します。
- 当社では、サステナビリティに関する課題について、経営会議を中心に議論を行ってまいりましたが、サステナビリティ推進委員会を設置し、取り組みを加速させています。ソラシドエアにとって特に重要なテーマについては、部会を設置し活動方針や施策の検討を行っています。





## CO2排出量削減目標

- 当社は、国土交通省が掲げる国内航空セクターの中長期目標に沿って、「2030年に、航空分野における単位輸送量当たりCO2排出量を2013年度比16%削減すること」、及び「2050年カーボンニュートラル」を目指します。
- 削減に向けて、主に下記4点の取り組みを行っています
  - ① 航空機の運航改善
  - ② 航空機技術革新の取り組み
  - ③ 空港車両や施設等のCO2排出量削減等
  - ④ SAFの活用導入検討等





## 航空機の運航改善

- 当社は、安全を最優先とした運航の実施に取り組みながら、CO2の排出を抑制・削減するため、さまざまな取り組みを行っています。日々の運航の中で、下表の取り組みを中心に行っており、今後も創意工夫を凝らし、不断の努力により環境への貢献を進めていきます。

出発前	駐機中	上昇中	巡行中	降下中・着陸	到着後
<ul style="list-style-type: none"> <li>- エンジンの水洗い</li> <li>- エンジン洗浄時期の見直し</li> <li>- 機内搭載品の軽量化</li> <li>- 飛行計画の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- APUスタート時期の最適化</li> <li>- 客室シェードクローズ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Flap Retractionスケジュールの変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 飛行速度の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Delayed Flap Approachの実施</li> <li>- Idle Reverse</li> <li>- One Engine Taxi</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 飛行実績フィードバック</li> </ul>

## 航空機技術革新に関する取り組み

- 当社は、燃費改善とCO2排出量削減効果が期待される次世代機の導入の検討を行っています。
- その他、運航全機材にカーボンブレーキの換装、ウイングレットの装着を実施しているほか、一部機材の塗装にBCCC(Base Coat Clear Coat)を採用しています。



## 航空機運航以外の分野

- 航空業界における脱炭素化に向けては、航空機運航分野以外での削減への取り組みも重要です。当社は、空港車両や施設設備においても下記のような対応を行っております。

### 空港車両

- 空港車両の運行に際し、アイドリングストップの徹底
- 就航先の空港と連携した空港車両のHV・EV・FCV化の準備

### 施設電気消費

- 当社施設設備のLED照明への更新

## SAFの活用に関する取り組み

- 航空業界の脱炭素化に向けては、航空燃料の低炭素化への取り組みも重要になります。当社は地元企業・研究機関との連携も視野に、調達手法等の調査・研究を行っています。



目的	内容
プラスチック使用量削減	サービスアイテムの機内ドリンク用紙コップ・フタ・ストローの素材変更 (紙コップ：間伐材素材採用、フタ・ストロー：紙素材採用)
プラスチック使用量削減	手荷物梱包・貨物梱包用ビニール袋廃止
紙使用量削減	ペーパーレス化推進 (マニュアル・時刻表・機内誌・貨物運送状の電子化促進)
廃棄物削減	機内ドリンク用紙コップのリサイクル 廃材シートカバー活用



コースター



ペンケース



小銭入れ



クッション



スリッパ



携帯用スリッパ



- 2022-2026年の中期経営計画にて、地元との共創戦略として「地元と共に地元価値を創出・拡大・発展させ、地域社会と持続可能な関係を確立する」を掲げています。ひとりひとりの社員がローカルプライドを胸に抱き、日々の専門業務に取り組んでおり、環境保護分野でも活動しています。

## ソラシドエコファーム

- ソラシドエア就航20周年記念企画として募集した「ソラシドエアと一緒に実現したい企画」の中で、株式会社イノPが提案したプロジェクトです。鳥獣被害によって耕作放棄地となった畑を再生すべく、両社共同でサツマイモやトウモロコシを植え育てております。また、二酸化炭素の吸収率が杉の4倍かつ、4年から5年で木材として利用できる早生桐を植え、環境保全意識の啓発につながる地域密着型の活動に取り組んでいます。



(左)株式会社イノP 代表取締役 宮川 将人  
(右)株式会社ソラシドエア 代表取締役社長 高橋 宏輔



地域の方々とソラシドエア社員

## 九州地方におけるカーボンプレジット創出・購入の検討

- 地元九州の地域資源を有効活用した脱炭素課題解決の取り組みの一つとして、森林資源の活用も検討をしていきます。